

第1号様式（第7条関係）

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛 先) 京 都 市 長		平成 29年 8月 17日
報告者の住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 京都市南区吉祥院落合町 15		報告者の氏名（法人にあっては、名称及び代表者名） 東レコーテックス株式会社 代表取締役社長 木下 淳史
京都市地球温暖化対策条例第22条第2項の規定により報告します。		
環境マネジメントシステムの名称	ISO14001-2015	
適用範囲	東レコーテックス株式会社 本社工場・化成品工場	
導入年月日	2002年 12月 20日	
認証番号	JICQA-E2298	
基本方針	立地の状況を十分に認識し、原材料の調達から製品の製造、供給、廃棄に至るまでのすべての事業活動において、社会と社員の安全と健康を守り、環境保護に取り組みます。	
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	平成28年度目標 ・特別管理廃棄物の排出量 分別回収の強化とリサイクルの推進 ・一般廃棄物の排出量 前年比5%必達削減+α目標削減 ・古紙リサイクルの80%以上の推進 ・コピー用紙の削減 前年比10%削減 ・繊維・樹脂層の削減 分別強化による3Rの推進 ・省エネの推進 2016年度SVA目標必達	
目標を達成するための取組の内容	・工程ロス削減による廃棄物の削減 ・古紙の分別強化、不要コピーの削減、裏面利用 ・省エネ機器の更新による省エネ推進 ・定期的な温調機の清掃・整備による電気の省エネ推進 ・昼休み・無人時の電灯消灯推進 ・地域清掃活動の推進（花植え、外周一斉清掃などの推進） ・廃プラのリサイクル化	
目標を達成するための取組の進捗状況	平成28年度実施結果 ・工程ロス削減による廃棄物の削減 …平成28年度 自主目標を達成 ・古紙の分別強化、不要コピーの削減、裏面利用 …同年度 自主目標達成 ・省エネ機器の更新による省エネ推進 …設備投資時に逐次更新中 ・定期的な温調機の清掃・整備による電気の省エネ推進 …計画的に実施 ・昼休み・無人時の電灯消灯推進 …継続実施中 ・地域清掃活動の推進（花植え、外周一斉清掃などの推進）…定期的に実施 ・廃プラのリサイクル化 …自主目標達成	
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	・僅かではあるが得られた。さらなるリスクを抽出して適切な管理を進める。 ・環境負荷の低い原料の導入検討を進めているが、即時に成果が出るものではない。当面は生産工程での負荷低減を中心に検討を進める。	
事業活動に係る法令の遵守の状況	・3ヶ月に1回の環境管理委員会、CSR委員会を開催し、法的遵守状況の確認を実施。 ・年1回親会社の東レ(株)より監査を受け、不備な点について指導されている。 ・毎月1回全社朝礼で従業員への法令遵守を指導。 ・平成28年度の行政指導は無し。	
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	・平成29年6月20日 ISO14001 2015年版への移行ならびに更新	

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。